

令和4年第420回信濃町議会定例会9月会議再開あいさつ

令和4年9月2日

信濃町長 横川 正知

議会議事堂にて

本日ここに第420回信濃町議会定例会9月会議の再開、並びに本定例会にご提案を申し上げます各案件の審議に先立ちまして、一言ごあいさつを申し上げます。議員の皆さまにおかれましては公私ともお忙しいなか、ご出席を賜りまして厚く御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も第7波の到来とともに感染者が急拡大し、高止まりの状況が続いていましたが、ここにきて感染者数も減少傾向に転じてきました。県内も感染者数が過去最多を更新するなか、今月4日まで全域にBA.5対策強化宣言を発出し対策を強化しております。当町における先月までの感染者数は累計483人で8月だけで216人の感染が確認されており、依然として高い水準にあることから、住民の皆様には熱中症対策を踏まえた無理のない感染対策の徹底をお願いいたします。

ワクチン接種の状況ですが、昨年5月から集団接種会場を設け接種を行っておりますが、12歳以上で3回目の接種を終えた方は75%、60歳以上で4回目の接種を終えた方は85%に達しております。政府では、オミクロン株に対応した新たなワクチン接種を計画しておりますが、一方で時節柄、インフルエンザの予防接種等も予定されることから、医療機関との調整を図りつつ、引き続き計画的に進められるよう取組んでまいります。

ウクライナへのロシアの軍事侵攻から半年余りが過ぎましたが、未だ停戦の道筋は見えず、燃料資源や農産物をめぐって供給不足による価格上昇が物価高騰の一つの要因となっています。7月分の消費者物価指数は2.6%上昇し、住民生活にも悪影響を与えています。今後も上昇傾向が続くことが見込まれることから、国県の動きに連動した施策の展開に努めてまいります。

今年度の主な事業について進捗状況等をご報告させていただきます。

コロナ関連対策では、これまでに新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した19事業1億8,569万円を補正してきところですが、プレミアム付き商品券に加えて、別段で全戸商品券の発行による地域振興商品券事業、感染症対応病床の確保等による病院事業会計繰出事業、誘客促進のための宿泊割引キャンペーンによる宿泊促進支援事業、18歳未満の児童1人あたり20,000円を給付する子育て世帯生活支援事業、非課税世帯等へ1世

帯あたり 16,000 円を給付する物価高騰生活支援事業などとなっております。

次に病院再整備について、移転先となる旧柏原小学校の解体工事を 5 月から始め、現在、プールの解体撤去を終えて校舎の解体にとりかかっており、1 2 月には校舎の解体撤去作業は終える見通しとなっております。

続いて町内のイベント関連ですがコロナ禍により、中止となったものもごございますが、規模の縮小や感染対策の徹底により、3 年ぶりに成人式が開催できました。なお、総合防災訓練は仁之倉地区で実施を予定していましたが感染警戒レベル等を考慮するなかで中止としました。防災訓練は、災害時を想定した行動等を確認・点検する機会でもあることから、住民の皆様には常日頃から台風や地震といった災害に備えて、避難所や緊急連絡先の確認、家具などの倒壊防止、停電や断水のときのための備蓄・備品の準備などを行っていただきますようお願いいたします。

さて、本会議では令和 3 年度の決算の認定について提案させていただいております。これより各会計の決算について概要をご説明申し上げます。

はじめに、一般会計でございますが、歳入総額は対前年度 5 億 1,893 万円減の 62 億 5,677 万円、歳出総額は 5 億 1,347 万円減の 61 億 3,458 万円となり、歳入歳出ともに昨年度実施された特別定額給付金（国民一人当たり 10 万円支給）の皆減によって減額となりました。

歳入内訳の主なもので、町税は事業収入が減少した中小事業者等の固定資産税を軽減適用し 2,364 万円減の 10 億 7,809 万円、地方交付税は国税収入の補正等に伴う増額で 1 億 8,065 万円増の 29 億 8,490 万円、利子割交付金などの交付金は固定資産税の軽減措置による減収分を補填する新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金などで 5,299 万円の増、国県支出金は特別定額給付金の皆減などで 8 億 5,190 万円の減、寄附金はふるさと信濃町応援寄附金及び企業版ふるさと納税地方創生寄附金の増額で 3,625 万円増の 4,960 万円となりました。

歳出内訳を性質別で見ますと、義務的経費が 1 億 4,760 万円増の 21 億 4,423 万円で子育て世帯給付金・子育て世帯生活支援特別給付金事業などで増額となりました。投資的経費は 1 億 8,543 万円減の 4 億 7,086 万円で菅川栈橋や橋梁補修、童話館空調設備改修工事などを行いました。その他維持補修費では除雪経費などで 1 億 1,971 万円の増、補助費等は特別定額給付金の皆減などで 7 億 8,011 万円の減、積立金は地域医療介護等総合確保基金の積み増しなどで 1 億 7,351 万円の増となりました。

町債残高は 6,517 万円減り 48 億 1,198 万円となりました。

町の財政の健全性を国が示す財政指標でみると「実質公債費比率」が9.7%と0.8ポイント改善、「将来負担比率」は7.9%で16.6ポイント改善しました。企業債及び町債残高が減少し、普通交付税が増額となって昨年に続き改善されました。また、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」も86.2%で4.5ポイント改善されました。

財政調整基金を含む主要三基金は2年続けて取崩すことなく、年度末残高は12.3%増の19億3,100万円となりました。

続いて、四つの特別会計の決算について申し上げます。

まず、国民健康保険特別会計でございますが、歳入総額が前年度比5.0%増の11億4,386万円、歳出総額が4.6%増の11億2,842万円で実質収支額が1,544万円となりました。国民健康保険基金の年度末現在高は9,960万円となりました。

後期高齢者医療特別会計でございますが、歳入総額が前年度比2.2%増の1億1,924万円、歳出総額が2.3%増の1億1,779万円で、実質収支額145万円となりました。

介護保険事業特別会計でございますが、歳入総額が前年度比3.4%増の9億9,644万円、歳出総額が1.7%増の9億5,988万円で、実質収支額3,655万円となりました。介護保険支払準備基金は3,500万円取崩し、年度末残高は1億1,550万円となりました。

古海診療所特別会計でございますが、歳入総額が前年度比1.5%減の461万円、歳出総額が0.3%増の460万円となりました。

次に、公営企業三会計について説明申し上げます。

はじめに、水道事業会計でございますが、収益的収支では事業収益総額が1億9,111万円、事業費用総額が1億7,484万円であり、経常利益は1,846万円で特別損失を含めた当年度純利益は1,627万円となりました。

下水道事業会計でございますが、収益的収支では事業収益総額が4億2,449万円、事業費用総額が4億6,696万円であり、経常損失は4,105万円で特別損失を含めた当年度純損失は4,247万円となりました。

最後に病院事業会計でございますが、収益的収支につきましては、事業収益総額が14億3,349万円、事業費用総額が13億7,803万円であり、当年度純利益は5,546万円となり、年度末処理欠損金は11億5,884万円となりました。

本会議に提案申し上げます議案でございますが、ただいま概略を申し上げます令和3年度の各会計歳入歳出決算の認定関係は一般会計をはじめ8件、令和4年度の各会計の補正予算関係につきましては一般会計をはじめ9件、条例関係1件、その他1件で合わせまして19

件を、さらに報告案件として4件を予定しております。ご審議のうえ、ご承認、また、ご決定くださいますようお願い申し上げ、9月会議の再開のあいさついたします。